

令和２年度淀川区区政会議 第２回コミュニティ力向上部会 議事要旨

日 時：令和２年３月１０日（水）午後６時４３分～午後７時３３分

場 所：淀川区役所 ５階 ５０１会議室

出席者：

・委員６名（７名中）

浅井委員、奥委員、光在委員、杉本委員、中井委員、福岡委員

[欠席委員：横山委員]

・区役所

西総務課長、畑中市民協働課長、山崎市民協働課長代理、

藏本政策企画課担当係長 ほか

内 容：

１．議 題

(1) 令和３年度淀川区運営方針(案)について

資 料：

【当日配布資料】

・次第

・区政会議委員名簿

・座席表

・(資料３) 令和３年１０月以降の区政会議運営について

・(資料４) 淀川区令和３年度区長自由経費予算事業一覧

・(資料５) 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」及び「淀川区地域福祉推進ビジョン(淀川区おせっかい共和国宣言)」について

・よどマガ３月号

【事前配布資料】

・(資料１) 令和３年度 運営方針重点的に取り組む主な経営課題（概要版）案

・(資料２) 区政会議アンケート結果

１．議 題

(1) 令和３年度淀川区運営方針(案)について

○ご意見を頂きたい点について説明。(藏本政策企画担当係長)

○経営課題3 つながるまちの実現の具体的取組 3-1-1～3-1-3 について説明
(畑中市民協働課長)

- ・3-1-1の①の目標について、地域の活動、行事の必要性を感じるかという聞き方では、必要だと感じる割合は増えるのは当然だと思う。(福岡委員)

⇒昨年度までは、全市共通の目標として、「お住まいの地域で、ご近所同士で『声かけ』、『見守り』、『助け合い』、『支え合い』が行われていると感じる割合」、それを要約して、「身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている割合」を目標数値にしていた。(蔵本政策企画課担当係長)

- ・アンケートは数値なので、質問の文言を変えると数値を比較できなくなる。

(奥委員)

- ・市民活動の理解を促進するというのは、最終的にどういう状態に持っていきたいのかがわからない。地活協を理解してほしいというところに持っていこうとしているのか、最終的な目標は何か。(杉本委員)

- ・3-1-1の②の目標のように、同じ質問内容で数値目標を設定しているのであれば意味があると思う。3-1-1の①の目標を、「必要性を感じている割合」と変更し、その割合がほぼ100%になってしまっているのであれば、今後、それを目標に設定することはできないのではないか。(奥委員)

- ・「身近な地域活動について必要性を感じるか」の問いかけよりも、具体的にこういう行事はどう感じるか、必要かどうかを聞く方がいいと思う。地域活動というあまりにも内容が漠然としているので、どういう活動を行っているという具体的な活動を示してアンケートをとる方が、回答者にとってイメージがわいていいのではないか。(福岡委員)

⇒今回、アンケートでは具体の活動を示したうえで、地域活動についての必要性を聞いている。(畑中市民協働課長)

- ・地域活動に関心を持っていない人に、いきなり地域活動協議会を知っているかを聞いても受け付けてくれないと思う。まず、「地域活動に関心をもっているか」を聞いて、そこから地域活動について細かく聞いていく方がアンケートに答えてくれるのではないか。最終的には、いろいろな人に関心を持ってもらえるようになればいい。(光在委員)

⇒まずは関心を持ってもらい、できれば参加していただきたいと思う。(畑中市民協働課長)

- ・アンケートを通じて、地域活動協議会がどういう活動をしているのかということを知っていただかないといけないと思う。知らない人が多すぎるから、「地域活動協議会を知っているか」を聞くことは必要。(福岡委員)

- ・地域活動協議会を知っている割合が37.4%から47.1%に上がっていることは評価できる。(奥委員)

- ・地域活動協議会を知っている割合の目標数値は、今年度よりも上げるべきだと思う。(福岡委員)

- ・3-1-1の①について、杉本委員から何をめざしているのかという質問があったが、目標としては、地域活動や市民活動が地域や自分にとって有用であることを理解してほしいというところにある。その達成のためにはどうしたらいいか、数値目標はどう設定したらいいかという点で意見をいただきたい。(蔵本政策企画課担当係長)

- ・例えば、子育てサロンや食事会、盆おどりは誰が実施しているか、小学校か、区役所なのか、地域なのか、を知っているかを聞いて、そこで地域活動協議会がしているということがわかると、地域活動協議会は何だろうということにつながっていくかもしれない。(杉本委員)

⇒アンケートを通じて、活動内容を知っていただくということがとてもいいと思う。(福岡委員)

- ・若年層は地域活動になかなか参加しないと聞くので、実際に必要性を感じているのかを初めて聞いてみたところ 90%以上という結果になり、必要性を感じていることがわかった。今回、アンケートでは、「どうしてもっと多くの方が地域活動に参加するようになるか」も聞いている。「実施日や実施内容をもっと情報発信すればいい」という声が一番多く、また、「知り合いから声をかけてもらったらいい」という声も多かった。参加しないと運営者にはなりえないので、まず参加してもらい、これなら私もできそうだ、というところにつなげられればと思う。(山崎市民協働課長代理)

- ・HP や SNS での、地域活動にかかる情報発信の手段、回数についての評価を聞いていくのがいいと思う。(奥委員)

- ・アンケートの回答者に地域活動協議会の実態を理解してもらうために、地域活動協議会が行っている行事、活動をアンケートで紹介して、地域活動協議会の認知度を聞いてほしい。また、どういう手段（よどマガ、掲示板等）で地域活動協議会を知ったかをアンケートで聞いてほしい。(福岡委員)

○経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組 4-1-1～4-2-1 について説明 (蔵本政策企画課担当係長)

○経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組 4-3-1～4-4-1 について説明 (西総務課長)

- ・窓口の並び方が変わったり、待ち時間も大分短縮されて以前より大分良くなったと思うが、庁舎に入ったところが雑然としていて、どこに行ったらいいかわかりにくいところはある。案内の職員がいて、親切に声をかけてくれるのがとてもいいと思っているが、星が1つというのがよくわからない。役所で 30 分

以上待たされると評価が低くなるのではないかと。時間をもう少し短縮すれば評価が上がってくるのではないかと思う。(杉本委員)

⇒星1つは民間の窓口サービスの平均的なレベル、星2つは民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル、星3つは全国に誇れる極めて高度なレベルとなっている。

今年度は、マイナンバーに関する手続きが1階窓口の混雑に拍車をかけている状況である。受付窓口を分割したりして混雑解消に向け試行錯誤している。また、4月からスマホ等で窓口の混雑状況がわかるようにする等、工夫しながら改善を図っている。(西総務課長)

・区役所の対応はとても良くなっていると感じるので、評価が低いのが理解できない。(中井委員)

・どういう方が窓口サービスなどを評価しているのか。(福岡委員)

⇒民間の専門会社に市が委託しており、全24区で窓口と電話対応について覆面調査員が評価している。(西総務課長)